



人、企業、地域
ともに未来をつくる商工会議所



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小堅強法人部門

南さつま商工会議所

会報

第152号

発行

令和8年(2026)年1月9日

南さつま商工会議所

鹿児島県南さつま市加世田本町23番地7

Tel (0993) 53-2244 Fax (0993) 52-2016

E-mail info@minamisatsuma-cci.or.jp

会員数: 563 (令和7年12月31日現在)

イルミネーション

で街が彩られる♪



毎年恒例のイルミネーションが11月末より、ゆめびか本町通り「ボッシュット広場」にお目見えしました。(主催: 加世田本町通商店街振興組合)

ボッシュット広場いっぱいにイルミネーションが明るく彩られ、寒い冬の夜が少し暖くなった気



ご紹介ください。新規会員募集中!



新年のご挨拶
会頭 上東 伸太郎



新年あけまして
おめでとございます。

令和八年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

会員の皆様には、新たな希望を胸に健やかな新年をお迎えになられたことと存じます。また、平素より当所事業運営には多大なご支援・ご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年は商工会議所議員・役員の改選時期に当たり、十月三十一日に開催された「臨時議員総会」におきまして南さつま商工会議所会頭に選任いただき、第七代会頭に就任いたしました上東伸太郎でございます。会頭としての責任の重さに改めて身の引き締まる思いです。

十一月から新たな役員・議員体制で第二十六期をスタートいたしました。会員皆様と共に当地域の振興に向け全力を傾けてまいりますので、ご理解・ご支援・ご協力を賜りま

すようお願い申し上げますとともに、このような変化の多い時代に産業界を代表する会議所会頭という大役を仰せつかり、誠心誠意努力すべく覚悟を新たにしております。

さて我が国経済は、成長型経済への移行に向けた正念場を迎えております。賃上げや物価・金利の上昇がみられる一方、米国による関税措置など経済の不確実性は依然として高い状況にあります。

こうした状況の中、南さつま商工会議所には、地域商工業の活性化を図ると共に魅力あふれる地域づくりに貢献することが求められています。また、商工会議所として会員の皆様や地域にとってより良い商品・サービスを提供することが我々に課せられた使命であると認識しております。

昨年十月に高市内閣が発足しました。新内閣におかれては、力強いリーダーシップを発揮していただき、政策が停滞することなく多くの山積する課題に取り組んでいただくことを期待し、持続可能な社会経済を目指していただきました

いと思います。

昨年を振り返りますと、南さつま市と旭川市の姉妹盟約十周年を記念して旭川市で行われた「食べマルシェ」のオープニング式典に、南さつま市からの訪問団の一員として当会議所からも多数参加しました。

また、青年部と女性会においては創立三十周年にあたり、記念式典の開催や神輿パレードなど存在感のアピールや地域振興にも努めております。

会議所活動としては、地域経済と雇用に大きな役割を担う中小企業の活力強化のため、国から認定を受けている「経営発達支援計画」に基づく創業支援や経営計画の作成に力を注ぎ、販路開拓として東京、大阪など大都市での展示会、商談会への参加と商品開発を進めて参ります。

また、地域活性化のため行政への施策提言、薩摩半島横断道路の早期建設など道路網等の整備に向けた国・県への要望活動をはじめ、中心市街地活性化対策、イベントを通じた交流人口の拡大、観光振興など各般にわたり取り組んでまいります。

結びに、皆様方のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げ、新年並びに就任あいさつとさせていただきます。

◆永年勤続優良従業員表彰推薦のお願い◆

商工会議所では、会員事業所に永年勤続されている優良従業員の方を3月開催予定の議員総会で表彰することとしています。

会員事業所の該当表彰者についてご推薦くださいますようお願いいたします。

1. 勤続年数の基準日 令和7年12月31日現在
2. 表彰区分 勤続5年以上、10年以上、20年以上、30年以上 4区分
3. 記念品の負担について 事業所の方も記念品相当額のご負担をお願いします。
4. 推薦方法 当所所定の推薦用紙に必要事項をご記入の上、商工会議所までお申込みください。
(電話：0993-53-2244)

新年のご挨拶

南さつま市長



本坊輝雄

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。

まずもって、これまで永きにわたり会頭をお務めいただきました島越澄夫氏におかれましては、本市の商工業をはじめとする市政全般にわたり、温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。これまでのご労苦に心より感謝申し上げます。

このたび、市民の皆様の温かいご信任をいただき、引き続き市政の舵取り役を担わせていただくこととなりました。今回、「ふるさと市民10万人」という目標を掲げ、国が創設する「ふるさと住民登録制度」等を活用し、関係人口の拡大・交流の活性化を図ることで、地域の活性化に取り組んでまいります。

昨年は、台風12号に伴う集中豪雨により、加世田川などの氾濫で多くの床上・床下浸水が発生し、災害救助法、被災者生活再建支援法の適用及び激甚災害の指定を受け、復旧に向け全力で取り組んでおります。被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、これまで復旧・復興にご尽力いただいたすべての方々に深く感謝申し上げます。

3月には、南薩4市の商工会議所が

主体となつて7年ぶりとなる「薩摩半島横断道路整備促進決起大会」が開催され、関係者一同約700名が参加し、一層の機運醸成が図られました。引き続き関係する皆様と連携し、国や県に対し早期整備に向けた要望活動を行ってまいります。

昨年、市制施行20周年という大きな節目を迎え、9月23日の記念式典前日には、金峰学園において堂免一成・信州大学特別栄誉教授に講演いただき、子どもたちや地域住民など約160人が聴講し、ふるさとへエールを送っていただきました。記念式典当日は、市内外から約700人の出席者をお迎えし、園児たちのいろは歌暗唱の披露や高校生の書道パフォーマンス、中学生による藤倉大南さつま市外交官作曲の南さつまファンファーレの演奏、少年少女合唱団の合唱など、これからの本市を担う多くの子どもたちに式典を盛り上げていただきました。また、同日開催の南さつまフェスタ総踊りも千人を超える踊り連の参加のもと、2千発の花火の打ち上げまで、多くの市民でにぎわい、思い出に残る一日となったと思っております。

次なる30周年に向け、皆様の期待と信頼にお応えできるよう、市政運営に邁進してまいります。

11月には県の半島特定地域「元氣おこし」事業補助金を



活用した、タレントの中川翔子さんのデザインによる「タカエビモニユメン」が野間池みなど広場にブレオープレいたしました。お披露目式では、笠沙小学校児童による「笠沙太鼓」の演奏や中川さんからの祝いビデオメッセージの披露があり、大勢の来場者で賑わいました。今後は、モニユメント周辺を含めた広場内の整備を、令和8年度から行ってまいりたいと考えております。

令和6年度のふるさと納税につきましては、54億円を超える寄附をいただき、令和7年度も引き続き好調に推移しております。これも市内事業者の方々の協力のおかげであり、今後もふるさと納税返礼品を通じた地域特産品の振興に努めてまいります。

また、地域の「拠り所」として市民生活に密着した役割を担ってきた全支所の建て替え・改修が、大浦支所の完成により、1月末にはすべて整うこととなります。さらに、新たな施設となる（仮称）教育行政棟につきましても、今年秋頃の開所を目指して工事が進んでおります。新しい装いのもと、各施設の相乗効果が生まれ、多くの市民の皆様が親しまれ、快適にご利用いただける施設となることを期待しております。

令和10年度に移転予定の南薩地域振



興局の跡地活用につきましては、本市の中心市街地のさらなる活性化に向け、にぎわいあふれるまちづくりを推進してまいります。

さらに、令和11年には全国植樹祭が、天皇皇后両陛下のご臨席のもと45年ぶりに本県で開催されます。昨年11月21日には市内14団体のご理解のもと、南さつま市開催推進検討会議を開き、同月27日には県準備委員会へ本市での開催を要望してまいりました。今後も招致活動を行い、県立吹上浜海浜公園での開催を実現し、緑化意識の高揚や本市の経済活性化の一助にしたいと考えております。

国においては、昨年末、電気・ガス料金の補助や子ども1人あたり2万円給付、物価高への対応などが盛り込まれた補正予算が成立しました。

本市においても、国の重点支援地方交付金を活用して、物価高騰の影響を受けている市民生活を支援するため、全市民を対象に、2千円で2万円分使える「さばっど商品券」を3月に販売いたします。今後も市政の諸課題に真正面から向き合い、課題を先送りすることなく、本市の将来を見据えた様々なプロジェクトを、スピード感を持って、切れ目なく、全力で取り組んでまいります。そして、若い世代、女性や高齢者、障がいのある方や外国人の方々に選ばれる薩摩半島の拠点都市として、持続可能な「安全・安心・安定」のまちづくりを行い、市内外の皆様が「南さつまはよかど」と実感できるよう努力してまいります。

結びに、このたび就任されました上東伸太郎新会頭のもと、南さつま商工会議所の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。



日本商工会議所会頭

小林 健

く変革と価値共創による

日本経済の再出発

明けましておめでとうございます。
二〇二六年の新春を迎え、謹んで
お慶び申し上げます。

【成長の果実を賃金や投資へ】

さて、昨年の世界情勢は、ロシア
によるウクライナ侵攻の長期化や
中東情勢の緊迫化といった地政学
リスクに加え、関税・輸出管理・産
業補助・投資審査などが複合的に作
用し、通商環境の再編が進行するな
ど、不確実性が一段と高まった一年
でありました。

国内に目を向けますと、日本経済
は賃金と物価の好循環に向けた兆
しが明確になりつつありますが、依
然として物価上昇に賃金が追いつ
かず、実質賃金の着実な回復が最大
の課題です。長年にわたり染みつい
たデフレマインドを払拭し、成長の

果実を賃金や投資へ確実に循環さ
せることこそ、日本経済の「再出発」
に向けた最大の鍵であります。

こうした中、国政においては、憲
政史上初の女性総理として高市総
理が誕生し、就任直後からトランプ
米大統領をはじめ各国首脳との会
談を精力的に行い、首脳間の信頼醸
成に努めてこられました。また、高
市総理が議長を務める「日本成長戦
略会議」におきましても、AI・半
導体、造船、量子など十七の戦略分
野への投資に加え、人的資本の強化、
労働市場改革、スタートアップ支援、
賃上げ環境整備など、将来の成長力
を高める政策課題が明確に示され
ました。国の成長戦略と歩調を合わ
せつつ、民間の現場から具体的な提
言と実行を積み重ねていくことが、
私どもの責務であります。

【成長型経済への転換を確固たるものにする「変革」と「価値共創」】

わが国の経済は、成長型経済への
移行に向けた正念場を迎えていま
す。しかし、企業数の九九・七%、
雇用の約七割（三大都市圏を除くと
約九割）を占める中小企業は、円安・
原油高に伴う原材料・エネルギー価
格などの高騰、人手不足や労務費の
増加、さらには消費低迷など多くの
課題に直面しています。

成長型経済への転換を確固たる
ものとするためには、個々の企業が
自己変革を果たし、変化する外部環
境に適応していくなど、絶えず「変
革」に挑み続ける姿勢が重要です。

同時に、不確実性の時代においては、
多様な主体が互いの強みを持ち寄
り、新たな価値を共に創り、共に分
かち合う「価値共創」の発想こそが、
これからの日本経済を支える基盤
になると確信しています。

【「変革と価値共創」による日本経済の再出発】に向けた三つの重点課題】

こうした考えから、私は今期のス
ローガンとして「変革と価値共創に
よる日本経済の再出発」を掲げまし
た。このスローガンの下、以下の三
点を重点課題として当所の運営に
取り組んでまいります。

一点目は「成長型経済の実現に向
けた環境整備」です。成長型経済を
実現するには、コストプッシュ型イ
ンフレから、需要拡大によるデマン
ドプル型インフレへと転換し、賃金
と投資の好循環を持続させる必要
があります。そのためには、適切な
価格転嫁と取引適正化の推進は、賃
上げ原資を確保する観点から官民
を挙げて一層強化すべき課題です。
加えて、経済安全保障とエネルギー
安全保障の両立、過度な円安の是正
に向けた金融政策、人手不足への対
応、持続可能な全世代型社会保障制
度の構築につきましても、引き続き
要望してまいります。

二点目は「変革と価値共創による
中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』
の強化」です。成長型経済の実現に
は、中小企業・小規模事業者の付加
価値と生産性の向上が不可欠であ
り、新分野進出、DX・GXの推進、

知的財産の創造・保護・活用、海外
展開、スタートアップとの連携など
への挑戦が求められます。また、事
業承継を契機として、より強く魅力
ある企業へと生まれ変わることが
重要です。

三点目は「地域の稼ぐ力の向上に
よる地域経済循環の推進」です。持
続可能な観光地域づくり、地域に新
たな投資を呼び込むためのインフ
ラ整備や税財政支援、地域の産業を
担う人材の確保・育成支援が求めら
れます。いずれも商工会議所の主要
な活動テーマであり、当所はもとよ
り、各地商工会議所が中核となつて
取り組まれることを心より期待い
たします。

【「現場主義・双方向主義」の発展】

私は「原点は対話である」という
信念の下、会頭就任以来、全国各地
を訪問し、地域や事業者の生の声を
伺い、各地域が抱える課題の把握に
努めてまいりました。今後は「現場
主義・双方向主義」をさらに発展さ
せ、現場の声に真摯に向き合いなが
ら、中小企業と地域の活性化、日本
経済のさらなる成長に向けて、皆さ
まと共に全力を尽くしてまいりま
す。皆さまの多大なるご支援、ご協
力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶
とさせていただきます。



第26期（任期：令和7年11月1日～令和10年10月31日）役員・議員一覧

會頭	上東伸太郎	(株)上東建設
副會頭	石堂博司	(株)ネクステージ和光
	井料英明	(株)シテイビルマネジメント加世
	宇都尋智	宇都酒造(株)
専務理事	本坊佳彦	
最高顧問	鳥越澄夫	(有)南薩東京社
顧問	上東信義	(株)上東建設
	園田豊	鹿児島県議會議員
常議員	松野純久	(株)コワダヤ
	本坊和人	本坊酒造(株)津貫蒸溜所
	新山真吾	(株)鹿児島銀行加世田支店
	本坊松一郎	(株)本坊商店
	西浩二	(株)加世田自動車学校
	松尾光明	(株)加世田京極
	有村巖	(株)有村運送
	西野武生	(株)クラフティア南さつま營業所
	中釜康一	(株)中釜電設
	篠原清成	鹿児島相互信用金庫加世田支店
	海邊浩司	鹿児島信用金庫加世田支店
	渡辺健	(株)タイヘイ
	小川和男	萬世酒造(株)
	瀬戸順一	(株)大八
	桐原清和	(有)桐原醸造
	安田誠	(有)安田文具店
監事	高倉正文	(株)ガンバリナ活性化協議会
	鎌田哲也	鎌田哲也司法書士事務所
	片平博徳	(有)スリーファイブ

常任顧問	議員
石之野洋一	日高 賢二
昭和化工(株)南さつま工場	三輪 佳範
九電ネクスト(株)加世田営業所	橋口 清見
パナソニックデバイスSUNX九州(株)	鹿兒島トヨタ自動車(株)加世田店
	橋口製餡(株)
	小川 樹
	(株)南日本銀行加世田支店
	田代 昌弘
	(株)田代設計工房
	出井 貴之
	加世田実業学園
	松尾 隆寛
	(有)南薩東京社
	中村 智也
	(有)樹林堂
	中村 正憲
	(有)中村プロパンガス店
	吉峯 信吾
	(株)丁子屋
	(有)加世田葬祭 光善社
	山口 望
	(有)加世田葬祭 光善社
	鮎川 和弘
	(有)鮎川印刷
	大谷 和広
	アクサ生命保険(株)鹿兒島営業所
	松木田 博
	松屋旅館
	當房 芳樹
	(株)万世ストアー
	宮原 隆和
	(株)エルム
	宮ヶ谷智治
	(有)宮ヶ谷自動車
	水溜 政典
	水溜食品(株)
	藤野 幸裕
	(有)東京商事
	宮脇 泰彦
	(有)宮脇仕出し店
	鮫島 勇志
	(株)キツト
	有村 満裕
	(株)有村工務店
	楠元 寛之
	社会福祉法人野の花会
	下舞 恵介
	(有)下舞工業所
	清水場真一
	(有)清水場果樹園
	大原 俊博
	大原不動産
	坂上 勇樹
	(有)オート・エス
	隈元 謙悟
	焼肉かごしま

【委員会構成】

委員会名	委員長	副委員長
総務	出井 貴之	宮ヶ谷 智治
	〔加世田実業学園〕	〔(有)宮ヶ谷自動車〕
商業振興	鮎川 和弘	松尾 光明
	〔(有)鮎川印刷〕	〔(株)加世田京極〕
まちづくり 企画	山口 望	中 釜 康 一
	〔(有)加世田葬祭 光善社〕	〔(株)中釜電設〕
金融サービス	篠原 清成	海 邊 浩 司
	〔鹿児島相互信用金庫 加世田支店〕	〔鹿児島信用金庫 加世田支店〕
産業振興	瀬戸 順一	清木場 真一
	〔(株)大八〕	〔(有)清木場果樹園〕

【部会構成】

部会名	部会長	副部会長
商業 (115)	安田 誠	中村 正憲
	〔(有)安田文具店〕	〔(有)中村プロパン ガス店〕
工業 (57)	石之野 洋一	水溜 政典
	〔昭和化工(株) 南さつま工場〕	〔水溜食品(株)〕
建設建材 (89)	中 釜 康 一	前 園 達 也
	〔(株)中釜電設〕	〔(株)前園建設〕
観光交通 (174)	松尾 光明	有 村 巖
	〔(株)加世田京極〕	〔(株)有村運送〕
金融庶業 (125)	新山 真吾	日 高 賢 二
	〔(株)鹿児島銀行 加世田支店〕	〔九電ネクスト(株) 加世田営業所〕

【 () 内の数字は、令和7年9月1日現在の部会員数。名前下の [] 内は事業所名です。】

●役員・議員の退任及び

職務執行者変更のお知らせ●

当所議員でありました、山下 美岳氏(有)大蔵屋、永田 芳道氏(株)永田モータース)が令和七年十月三十一日で退任いたしました。

山下氏は平成八年四月一日より議員に就任され、二十九年七月の期間、永田氏は平成十三年十一月一日より議員に就任され、二十四年の期間、ご活躍いただきました。

また、九月一日より、議員でありました宮本 佳春氏(株)丁子屋)に代わりまして吉峯 信吾氏に、十一月五日より、議員でありました下舞 博氏(有)下舞工業所)に代わりまして下舞 恵介氏に職務執行者の変更がありました。

宮本氏は平成十三年十一月一日より議員に就任され、平成二十二年十一月一日より常議員、平成二十四年七月一日より副会頭、令和四年十一月一日より議員と二十四年の期間、同じく下舞氏も平成十三年十一月一日より議員に就任され、二十四年の期間、ご活躍されました。商工会議所の事業活動をはじめ、地域経済の発展のためにご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。皆様の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

2025南さつまフェスタ ふるさと総踊り

九月二十三日（火・秋分の日）、2025南さつまフェスタふるさと総踊りが開催されました。

昨年は天候不良で中止となり、二年ぶりのお披露目となった高さ一メートル七〇センチ、幅一メートル、重さ約二五〇キログラムの「大神輿」を、南さつま市制施行二十周年を記念し、金峰権現太鼓の演奏に合わせて、当所青年部が中心となり、威勢よく担ぎました。



金峰権現太鼓が先導＝ゆめびか本町通り

市内三校の高校生約五十名、他県内の商工会議所青年部や青年会議所、地元企業の方々総勢約一三〇名が参加しました。
恵比須神社を出発し、途中雨に降られましたが、担ぎ手を交代しながらゆめびか本町通りを折り返し、約一時間担ぎ練り歩きました。



威勢よく大神輿を担ぐ様子＝ゆめびか本町通り

午後五時から行われた総踊りには、三十三団体約一〇〇〇人が参加し、午後七時からは市制施行二十周年を記念する約二千発の花火が打ち上げられました。

【右上】南さつま市長の号令で総踊り開始



南さつま音頭を踊る踊り連＝ゆめびか本町通り

【左上】夜空に打ち上げられ
た約二千発の花火

令和七年度 南さつま市ふるさと産品コンクール 金賞☆南さつま商工会議所会頭賞

【食品部門】（有）清木場果樹園

「シングロモルト津貫ウイスキー入り
マーマレード」

【工芸・生活用品部門】（株）ツジガラス工芸
「ピンブローチ・ピンタック」

十月二日（水）午後一時三十分より、当商工会議所三階会議室において、主催・南さつま商工会議所・南さつま市、協賛・（公社）鹿児島県特産品協会・（一社）南さつま市観光協会・南さつま地域資源活用促進協議会で「令和七年度 南さつま市ふるさと産品コンクール」を開催しました。

二年に一回の開催となり、南さつま市内の八事業所から十二点の出品がありました。【食品部門】と【工芸・生活用品部門】の二部門に分かれ、各事業所五分程度のプレゼンテーションが行われた後、審査員十名による協議に入りました。

食品部門は、試食・試飲をしながら、「味覚・加工」「デザイン性」「独自性」「市場発展性」「プレゼンテーション」の五項目で審査し、工芸・生活用品部門は、触ったり、持ち上げたりして感触や使い心地を確かめながら、「機能・性能」「デザイン性」「独創性」「市場発展性」「プレゼンテーション」の五項目で審査されました。

協議の結果、次のとおりとなりました。



審査会の様子
＝当商工会議所三階会議室



令和7年度 南さつま市ふるさと産品コンクール審査結果一覧

食 品 部 門		工芸・生活用品部門		
金 賞	銀 賞	金 賞	銀 賞	
南さつま商工会議所会頭賞	南さつま市長賞	南さつま商工会議所会頭賞	南さつま市長賞	
シングロモルト津貫 ウイスキー入り マーマレード	南さつま七蔵 利き焼酎セット	ピンブローチ・ ピンタック	ペアコップ（モミ灰）	
(有)清木場果樹園	(一社)南さつま市 観光協会	(株)ツジガラス工芸	笠沙陶苑	
				
1,500 円(税別)	4,528 円(税別)	10,000 円(税込)	3,000 円(税別)	
優 秀 賞				
ひとくちごぼう 酢ていっく	鹿児島県産黒豚 ウインナー	いろは姫	鳥家族	スカーフ留・髪留
水溜食品(株)	(株)コワダヤ	(株)小田屋	外園工芸 夢生工房	(株)ツジガラス工芸
				
300 円(税別)	550 円(税別)	210 円(税別)	2,000～4,000 円 (税別)	18,000 円(税込)



【工芸・生活用品部門】
会頭賞を受賞した
(株)ツジガラス工芸
＝当商工会議所3階会議室

また、展示・即売会も行われ、議員の方々にも実際に目で見て触れてもらい、購入もしていただきました。今後とも様々な機会を通じて、今回の出品製品をはじめとする南さつま市の地元特産品のPRに努めます。



【食品部門】
会頭賞を受賞した
(有)清木場果樹園
＝当商工会議所3階会議室

十二月二十三日(火)に開催しました南さつま商工会議所第三四二回臨時議員総会後の懇談会にて「南さつま市ふるさと産品コンクール表彰式」が行われ、受賞された出品事業所に表彰状が授与されました。

プレゼントやイベントの景品に「南さつま市共通商品券」のご利用を！

金融サービス委員会・金融産業部会 合同「視察見学会」

九月五日(月)、新山真吾委員長及び部会長(㈱鹿児島銀行加世田支店長)他十名で、指宿方面へ「視察見学会」を行いました。

最初に鹿児島県水産技術開発センターに行きました。

名前の通り水産技術の開発や赤潮などの情報をリアルタイムで発信しており、全国一位の養殖を誇る「ブリ」「カンパチ」「ウナギ」などの漁業を支えるため、様々な研究を日々しているとのこと、また、水産加工利用等はオーブンラボラトリとして一般にも開放されており、設備も全て無料で使用できるとのこと、センター職員の方に案内してもらいながら、ご説明いただきました。



資料培養研究棟を見学する様子
＝鹿児島県水産技術開発センター

次は九電みらいエナジー山川発電所に行きました。

日本最南端の地熱発電所で、発電出力は約三万キロワット、併設するバイナリー発電所が約五千キロワットで、指宿市の必要電力を十分賄える規模を持ち、生産井(せいさんせい)と呼ばれる井戸から蒸気と熱水を取り出し発電に使用する、蒸気を取り出した後の熱水はまた地下に戻すか冷却して蒸気冷却のために再利用すること、水よりも沸点が低い媒体は併設のバイナリー発電所で活用するなど、資源の有効活用を図っていると説明がありました。



参加者で開開岳もバックに集合写真
＝九電みらいエナジー山川発電所

水産業の振興と技術開発について知見を深め、エネルギーの安定供給と自然エネルギー活用の重要性を学ぶ良い機会となりました。

姉妹都市盟約十周年の北海道旭川市で 役員・議員研修視察を実施

当所では、役員・議員任期満了年に全国の様々な先進地を見学することで見識を深めるため研修視察を実施しています。

任期満了年となりました今年は、南さつま市と姉妹盟約を結ぶ北海道旭川市で毎年九月に開催される「北の恵み 食べマルシェ2025」に今年、姉妹都市盟約十周年のため南さつま市から訪問する訪問団に合わせて当所からも鳥越会頭をはじめ役員・議員が参加して経済交流等を図るため、九月十二日(金)～十四日(日)までの二泊三日の日程で研修視察を実施しました。



旭川商工会議所表敬訪問風景
＝旭川商工会議所会議室

初日の旭川市到着後、鳥越会頭と田代、石堂副会頭と事務局は、旭川商工会議所を表敬訪問し、新谷会頭をはじめ旭川商工会議所の

関係者の方々と互いの地域現状や経済状況などについて意見交換を行いました。

残る参加者の方々は、見せる展示方法で全国的に有名な「旭山動物園」を見学しました。

夜には、南さつま市訪問団と一緒に「旭川市・南さつま市姉妹都市提携十周年記念祝賀会」に出席して旭川市の関係者と交流を深めることができました。

二日目は、JR旭川駅近くに旭川市が整備した「姉妹都市提携十周年記念花壇」披露セレモニーに参加者一同出席し、当所会員事業所からも物販、飲食などに出品していた「北の恵み 食べマルシェ2025」を見学、これからも両市の経済、人的交流の繋がりが発展することを願う機会となりました。



「姉妹都市連携十周年記念花壇」の前にて参加者一同＝旭川市 記念花壇

このあと、北海道の観光地でもある小樽市に移動し、小樽市内などのガラス工芸や海産物加工品販売店などを見学して三日間の研修視察を終えました。

南さつま海道産業振協が 「国道二二六号調査」と 意見交換会

南さつま海道産業振興促進協議会（会長・上村敏弘南さつま市観光協会会長）は、十一月五日に南さつま海道八景を有する国道二二六号の現地調査と南薩地域振興局と南さつま市の道路整備関係者との意見交換会を開催しました。

現地調査では、マイクロバスで商工会議所を出発し一路、国道二二六号を野間池まで走行し、野間池ではみなと広場に十一月末に完成予定の特産タカエビのモニタリングの設置個所を車窓から見学しました。

また、旧久志中学校跡地に地元久志区振興会が中心になって整備を進めている「観光移住交流拠点施設&キャンプ場」もあわせて見学し、南さつま市坊津支所で参加者一同が出席しての、意見交換を行いました。



整備中の「観光移住交流拠点施設&キャンプ」を見学する参加者一行
＝旧久志中学校跡地

意見交換会では、協議会の参加者から現道に関する課題として早急な拡幅は無理でも海が見えにくい「海道八景」の箇所の高木の伐採の対応について要望があり、南薩振興局や南さつま市の担当者からは、地域振興事業などを活用しての立木伐採をこれまでの成果も踏まえて今後進めていくとのことであった。



意見交換会
＝南さつま市坊津支所会議室

今後の国道二二六号整備促進の要望活動のためにも有意義な意見交換会となりました。

【会議室貸出のお知らせ】

南さつま商工会議所には、二階中会議室、小会議室、三階中会議室、大会議室の四つの会議室があります。平日午前九時から午後五時まで貸出しております。ご利用されたい方は、商工会議所（☎〇九九三―五三―二二四四）までご連絡ください。

プレミアム付 南さつま市共通商品券の販売

十一月九日（日）一千万円で千円分のプレミアムが付く、「プレミアム付南さつま市共通商品券」二千二百セットを、南さつま市民会館第一会議室にて販売しました。



プレミアム付商品券販売会場の様子
＝市民会館第1会議室

午前九時からの販売で、販売前から長蛇の列ができていましたが、販売窓口も四力所設置したことでスムーズに販売することができました。

九日（日）は二千セット販売し、十日（月）で残りの二百セットを、商工会議所窓口で午前九時から販売し、午後二時三十分で完売しました。

「南さつま市共通商品券」には使用期限はございませんが、お早目のご利用にご協力ください。

使っていない商品券を確認しましょう！



「南さつま市共通商品券」は使用期限がありませんが、使わずに手元に残っている商品券がありましたら、共通商品券加盟店にてお早めにご利用ください。

＊下記事業所でも商品券が使用できるようになりました！
【飲食店】レストラン マンブルドッグ 市役所隣 0993-52-2856



プレミアム付商品券販売会場の様子
＝市民会館第1会議室

会員共済推進 第31回会員親睦ゴルフ大会

優勝 井料 英明 さん

(株)シティビルマネジメント
加世田支店



当所が会員事業所の従業員などの福利厚生の一環として行っている共済推進と会員親睦を目的に開催している、会員共済推進親睦ゴルフ大会を、十二月四日(木)喜入カントリークラブにて開催しました。

当日は二十六名の参加者があり、天候にも恵まれ、ゴルフ日和となりました。

親睦ゴルフということもあり、各組和気あいあいとプレーし、当所三階で行われた表彰式並びに懇親会でも親睦を深め、楽しく賑やかな一日となりました。

主な成績は次の通りです。

(敬称略)

【個人】

優勝 井料 英明

(株)シティビルマネジメント

加世田支店

準優勝 上東 信義

(株)上東建設

第三位 濱崎 洋

(株)ゼンケイ

第四位 西 一郎

(西商店)

第五位 坂元 俊文

(お好み焼き遊庭)

ベストグロス賞 上東 信義 76

ニアピン賞 (INSTART)

No. 2 中村 竜也

No. 8 田中 智彦

No. 12 田代 昌弘

No. 17 鎮守 良卓

(OUTスタート)

No. 2 坂元 俊文

No. 8 井料 英明

No. 12 宮脇 泰彦

No. 17 井料 英明

(INSTART)

No. 9 安田 誠

No. 18 鎮守 良卓

(OUTスタート)

No. 9 鬼塚 毅

No. 18 上東 信義

【部会対抗】

優勝 観光交通部会

準優勝 建設建材部会

※チャリティー募金で集まった一万七千円を、社会福祉法人南さ

つま市社会福祉協議会に寄付しました。



ゴルフ大会参加者記念撮影＝喜入カントリークラブ

第三十二回

しながわ宿場まつり

九月二十七日(土)～二十八日(日)の二日間、東京都品川区の北品川商店街路上において、第三十二回しながわ宿場まつりが開催され、南さつま地域資源活用促進協議会が主管となり、(株)TSUJI(さつま亭)、水溜食品(株)、竹添商店の三事業所が参加しました。

宿場まつり事務局にもなっている「品川宿交流館」の入口で、テントやテーブル等も準備いただき、出店することができました。



たくさんの人で賑わう様子
＝品川宿交流館入口

かこしま食のバイヤー

マツチング商談会 in 大阪

十二月四日(木) 鹿児島商工会



議所主催による「かこしま食のバイヤー」マツチング商談会が、大阪市のハービスOSA KAで開催され、(有)清水場果樹園と(有)小田畜産の二事業所が参加しました。

また、五日(金)は、KITTE大阪二階にある「かこしま屋」にて試食販売会が開催され、(有)清水場果樹園が参加しました。



「町たんけん」の様子＝お茶の松山園

加世田小学校二年生が 加世田本町通商店街を 「町たんけん」

十月九日(木)、加世田本町通商店街にて、加世田小学校二年生による生活科の学習である「町たんけん」が行われました。

四・五人のグループに分かれ、前もって回る店舗と質問事項等を記載した用紙を準備し、店舗に着くと元気よく挨拶し、お店の方に質問したり、店舗内の写真を撮ったりと楽しく学習していました。

普段入ることのできない場所や、初めて見るものなど、とてもいい経験になったと思います。

最後のお礼の挨拶もみんな元気よくしていました。

歳末大売り出し抽選会 が開催される



抽選会の様子＝ゆめびか本町通り

加世田本町通商店街振興組合の主催する『歳末大売り出し抽選会』が、第一回目…十一月三十日(日)午後三時から五時まで、第二回目…十二月二十一日(日)午前十時から午後三時まで、ゆめびか本町通りのポシェット広場で開催されました。

十一月一七日(月)から二十一日(日)までに参加店での買い上げ額に応じて抽選券・抽選補助券が配布され、一等から四等までは南さつま市共通商品券が、五等はお楽しみ景品が当たり、今回も特別賞として、クリスマスケーキ引換券もあり、たくさんの方が抽選に來られました。

また子ども広場では、小学生以下を対象にした、スタンプリーや焼芋販売も行われました。

生命共済還元事業

☆生命共済からお祝い金を
進呈させていただきました☆

(有)内村ホンダ販売にお勤めの
柳元 寛至さんのご息女
音采(おと)ちゃんです。



(有)南薩東京社にお勤めの
十田 智弘さんのご息女
麗葉(うるは)ちゃんです。



(有)南薩東京社にお勤めの
阿野山 瑠惟さんのご息女
律(りつ)ちゃんです。



(有)南薩東京社にお勤めの
濱屋 明宏さんのご息女
楓雅(ふうが)くんです。



(有)南薩東京社にお勤めの
大川 畑 幸来さんのご息女
百華(もか)ちゃんです。



(特非)ふうにお勤めの
畦元 大樹さんのご息女
夏月(なつき)くんです。



青年部だより

●南さつまフェスタ

大神輿パレード

九月二十三日（火・秋分の日）に開催された、2025南さつまフェスタふるさと総踊りにて、青年部が中心となり「大神輿」を担ぎました。

当日までに、ねじり鉢巻きを作成し下準備をし、当日早朝から神輿の館より大神輿を移動し、担ぐ準備を万全にし、部会員一同気合を入れました。



神輿を組み立てる様子
＝JA南さつま麓町出張所駐車場

午後三時四十分に恵比須神社をスタートした大神輿は、えびす通りからゆめびか本町通りへと進み、約一時間もの間、地元高校生・青年会議所・消防団・企業、その他地域の青年部・青年会議所の方々の協力をいただき、威勢良く大神輿を担ぎました。



大神輿を担ぐ様子＝ゆめびか本町通り

●日本商工会議所青年部九州ブロック大会葉隠小城大会

九月二十六日（金）～二十八日（日）にかけて、九州ブロック大会が佐賀県小城市で開催されました。開催前の九月一日（月）、キャラバン隊として、令和七年度九商青連の古賀会長と安田理事が当所青年部を訪れ、交流会を開催しました。

キャラバン隊と記念撮影
＝当商工会議所2階会議室



二十七日（土）に佐賀市文化会館で開催された記念式典と小城公

園で行われた大懇親会に、井料副会長他三名が参加しました。



参加者で記念撮影
＝佐賀市文化会館

●県連交流会

十月十四日（土）に開催された、鹿児島県商工会議所青年部連合会県連交流会「いち串トーーク!!!」に、YEGよ、しゃべり場に集え!!!に、当所青年部から二名が参加しました。



同世代ごとにグループを分け、他商工会議所青年部のメンバーと交流を深めました。

●忘年会

十二月十七日（水）午後七時より、「居酒屋崑（よろこび）」にて忘年会を開催しました。青年部、青年部OB会、事務局合わせて三十名が参加し、今年一年を振り返りながら、美味しい料理とお酒が進み、大いに盛り上がった一夜となりました。

●青年部OB会

親睦グラウンドゴルフ大会
十月十八日（土）、青年部OB会主催の親睦グラウンドゴルフ大会を、「宮原ふれあい広場」にて開催する予定でしたが、天候に恵まれず、中止となりました。



清水場会長の挨拶＝(有)村田旅館



中村会長の挨拶＝居酒屋崑

そのため、夜の親睦交流会のみ(有)村田旅館で開催し、青年部OB会のメンバーと青年部、事務局の計十五名が参加し、美味しい料理とお酒に会話が弾み、ビンゴゲームをするなど、楽しく親睦を深めることができました。

女性会だより

●南さつまフェスタ

ふるさと総踊り

九月二十三日(火・秋分の日)、2025南さつまフェスタふるさと総踊りにて「バザー出店」をしました。

事業委員会(山口委員長)が中心となり、会員に声をかけ、商品を集め、十八日に値札付けを行い、当日は午後一時三十分より販売して、一九四五〇円の売り上げがありました。



【写真上】バザーの様子
＝(株)シフトプラス駐車場
【写真左】振る舞い酒コーナーの様子
＝ゆめびか本町通り

また、午後五時から行われた総踊りでは、振る舞い酒コーナーを担当しました。



●ペットボトルキャップ及び使用済み切手贈呈式

女性会では、ペットボトルキャップと使用済み切手の収集を行っており、九月末までに集まった分を十月十七日(金)、宮本会長、鎌田副会長、山口副会長と事務局で、南さつま市社会福祉協議会へ寄贈しました。



社会福祉協議会當房会長へ寄贈する三役
＝いにしへホール

段ボール五十箱分二百kgのペットボトルキャップがポリオワクチン約五十名分に、使用済み切手は車椅子などの福祉機器や福祉教育の機材購入等に使用されるとのこととで、今後も収集を続けてまいります。

●講演会

十一月六日(木)午後七時より当商工会議所二階会議室にて、宮本会長のお母様「吉峯 睦子氏」を講師に、「山あり谷あり私の人生」という演題で、講演会を開催しました。

御年百歳の睦子さんの幼少期から、ご主人とのなれそめや戦争体験談、結婚・出産、子育てから家業のことなど、苦勞を乗り越え、明るく前向きに何事にも感謝の気持ちを忘れずに日々過ごす大切さを教えていただきました。「人のために一生懸命に生きたい」という言い続け、百歳になっても日記を書き続ける睦子さんのお元氣な姿に、参加者は感動しっぱなしでした。

講師の吉峯睦子氏



講演会の様子＝当所会議室2階

●第三十二回鹿児島県下商工会議所女性会合同研修会

十一月十四日(金)午後一時より、第三十二回鹿児島県下商工会議所女性会合同研修会in鹿屋が開催されました。

県下の十一商工会議所女性会が毎年持ち回りで開催される研修会で、今年は鹿屋商工会議所女性会が主管となり、鹿屋市のホテルさつき苑にて開催され、県下商工会議所女性会一〇四名、当所女性会

からは宮本会長他、五名が参加しました。

受付を済ませた後、AグループとBグループに分かれて研修視察を行いました。

Aグループの南さつまは、マイクロバスで移動し、かのやばら園を見学した後・くろふたの丘では南洲農場(株)の経営方針について説明を受け、その後鹿屋航空基地資料館を見学、鹿屋市観光物産総合センターの施設見学を行い、ホテルさつき苑に戻ってきました。

今回は、鹿屋商工会議所女性会創立二十五周年記念式典も同時開催するという事で、午後四時三十分から始まった式典では、主催者である鹿屋商工会議所女性会鶴丸会長の挨拶、中西鹿屋市長、新屋鹿屋商工会議所会頭、県連女性会新内会長の挨拶があり、午後五時三十分からの交流会に移りました。



参加者で記念撮影＝ホテルさつき苑

次回は、令和八年十一月十一日(水)阿久根市での開催です。

生命共済還元事業

9月は12名、10月は12名、11月は8名、12月は15名の合計47名の方々へお届けいたしました。



事務局日誌

期間…令和七年九月一日～十二月三十一日

【九月】

- 1日 青年部定例会議
- 2日 正副会頭会議
- 4日 第一回商業振興委員会
- 9日 空き店舗活用事例セミナー&補助金説明会
- マル経に係る勉強会及び意見交換会・懇談会
- 16日 青年部OB会第2回役員会
- 17日 CANサービズ及びAXAシステムのID統合について説明会「オンライン」
- 19日 労働保険事務組合研修会
- 「なんさつま元いきいきまちづくり事業」における市・関係団体との意見交換会
- 日商委託事業精算業務説明会「オンライン」
- 推薦団体連絡協議会
- 日本砂像連盟総会
- 24日 (一社) 県連第2回税制支援実務研修会「オンライン」
- YOROZU NX
- 30日 鹿児島県下統一BWCキャンペーン進発総会

【十月】

- 1日 第340回臨時議員総会
- 2日 青年部定例会議
- 7日 正副会頭会議
- 9日 (公財) 南薩地域地場産業振興センター理事会
- 14日 金融産業部会
- 商業部会
- 工業部会
- 15日 支援力向上研修
- 事業再生支援実務担当者研修会
- 確定申告期の税理士派遣に関する協議会
- 16日 観光交通部会
- 女性会役員会
- 17日 建設建材部会
- 20日 ベストウイズクラブ「福祉制度キャンペーン」
- 22日 Part 2 当所進発式
- 23日 YEG三役会
- 29日 豊祭太鼓踊り
- (一社) 県連第3回税制支援実務研修会「オンライン」
- 30日 九州ブロック中小企業相談所長会議(～31日)
- 31日 第341回臨時議員総会・懇談会
- 第25期役員・議員任期満了

【十一月】

- 1日 第26期役員・議員就任
- 6日 青年部定例会議
- 12日 中小企業の未来を考える引継ぎカフェトーク
- 17日 融資担当者研修会
- 18日 年末調整等説明会
- 10日 正副会頭会議
- 21日 (一社) 県連第4回税制支援実務研修会「オンライン」
- 26日 経営支援員基礎研修会(～27日)
- 吹上浜砂の祭典本町エリア会議
- 吹上浜砂の祭典第1回総務部会
- 27日 鹿児島県副知事への開催地誘致活動
- 青年部OB会第3回役員会
- 28日 南薩地域産業保健センター事業運営協議会
- (公社) 南さつま市シルバー人材センター理事会

【十二月】

- 4日 第20回九州地区商工会議所「共済制度運営研究協議会」(～5日)
- 8日 (仮称) 南さつま市目指す観光受入方針懇談会
- 9日 年末年始の交通事故防止運動・地域安全運動合同出発式
- 10日 監事会(令和7年度上半期)
- 11日 経営指導員応用研修会(特別コース)(～12日)
- 女性会役員会
- 12日 (一社) 県連第3回中小企業相談所長会議
- 15日 南薩地域合同研修会
- (一社) 県連第2回専務理事会(運営委員会)・第2回人事管理委員会・第1回自覚制度委員会
- 16日 (一社) 県連第5回税制支援実務研修会「オンライン」
- 第10期南さつま市観光協会総会
- 17日 南さつま市特別職報酬等審議会
- 吹上浜砂の祭典第3回実施推進本部会議
- 22日 令和7年度南さつま広域圏道路・河川整備促進協議会
- 23日 青年部第3回役員会
- 26日 (一社) 全労連鹿児島支部加世田地区協議会
- 事務担当者研修会
- 仕事納め式

プレゼントやイベントの景品に「南さつま市共通商品券」のご利用を！



アクサ生命

みんなと
会社の未来を
健康に。

Know You Can

そう。あなたなら、できる。

AXA-A2-2209-1161/9WD 「健康経営®」は、特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。



健康経営 **アクサ式**

やりがいが集まって、会社はつよくなる。

「離職率が下がりはじめて」「生産性がアップしてきた」。いま、経営者の皆様のそんな声が増えています。それはきっと、アクサの健康経営による「やりがい効果」。心と身体の健康をケアすることはもちろん、ある会社では「仕事と治療の両立」や「社内サークル活動」などに取り組み、夢や生きがい、働きがいといった「社会的健康」までをサポートしています。社員一人ひとりがやりがいをもって働ける環境をつくり、会社全体も元気に変えていくために。アクサ生命がお手伝いします。

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ（弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など）を共済制度／福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社 鹿児島支社 鹿児島営業所
〒892-0842 鹿児島市東千石町1-38 鹿児島商工会議所ビル8F TEL 099-222-7734